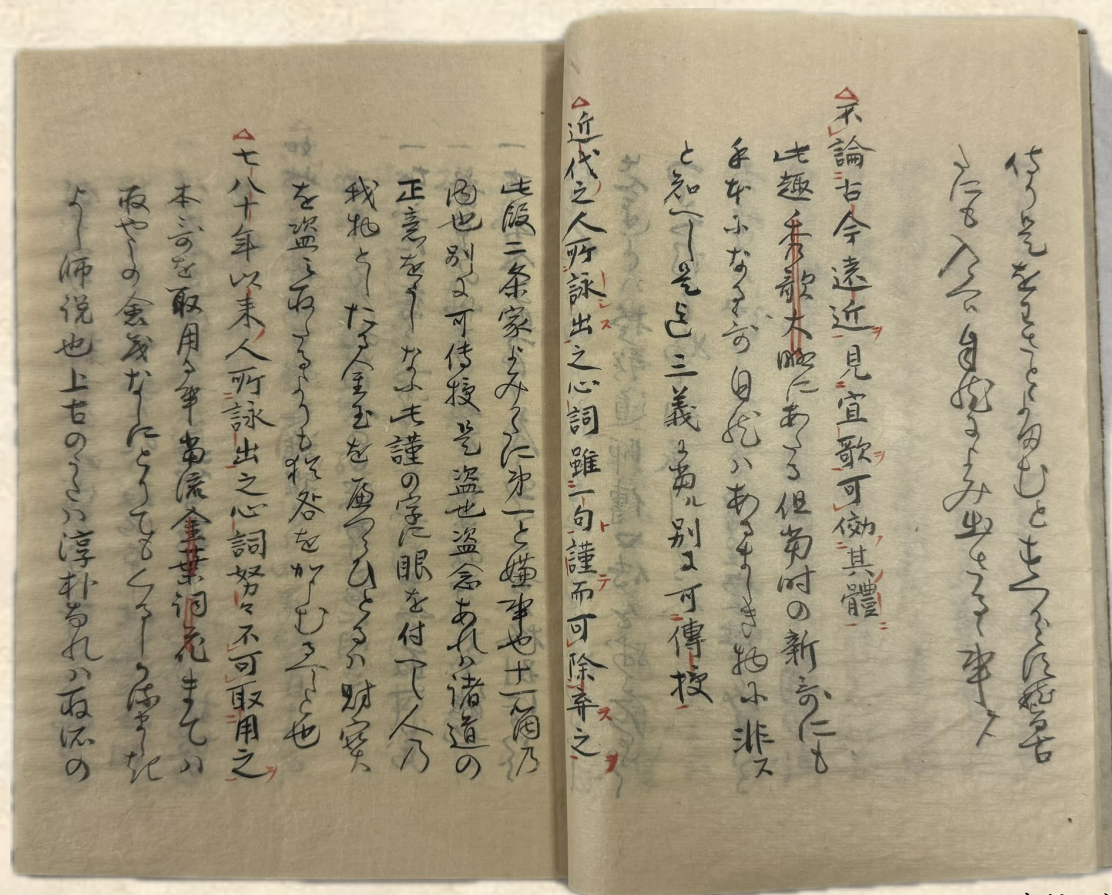


『自讚歌注』 写 一冊

[illegible]

古今伝授箱 五卷七冊入 より 『詠歌大概安心秘訣』



古今伝授箱 五卷七冊入 より
『詠歌大本秘訣』

詠歌大本秘訣

初五文字

保陸本乃登

佐久良知

月や安良ぬ

各極各歌之文字可惡

來如人跡

先又唯上二条家まほのくもぬ
 前とまきとをみて家の大事に
 してふみをはかぬもの名ま
 ならぬもの。おほなる人
 乃まゐるふはふんぬ。

一

世

卷之六

۱۰۰

十

△ 井 上 三 郎

玉の

いそそ

おひけち

△ものおもひ

風

あやふ

あまもこ

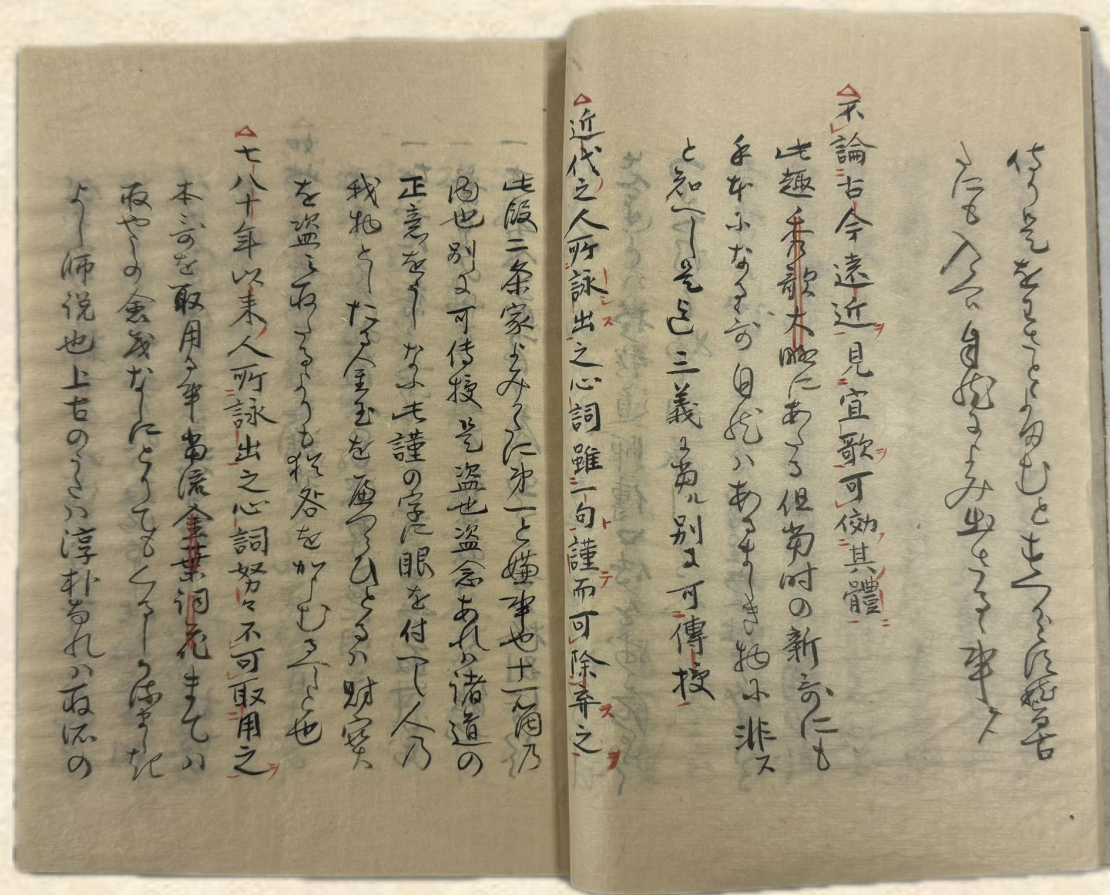
又

糸邊のたすけ 初めを可憐
 理に初めを字、糸邊をたす
 け、糸邊の初めを唯

『古今和歌集』 刊 一冊



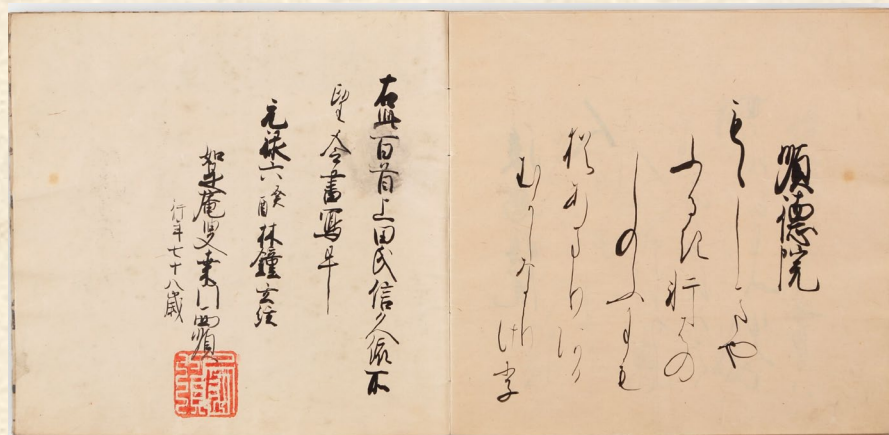
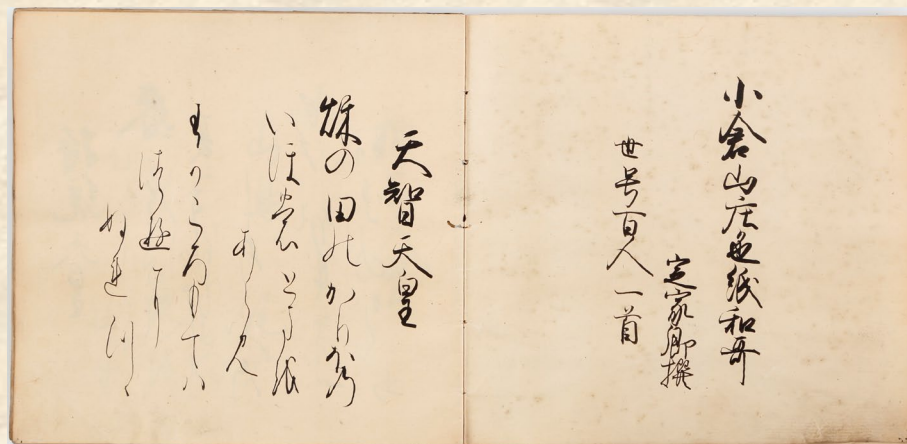
『古今和歌集兩度聞書』 写 一冊



大阪公立大学中百舌鳥図書館貴重図書展示

歌書のくさぐさ—古典から近代へ

『小倉百人一首』（杉本図書館所蔵）

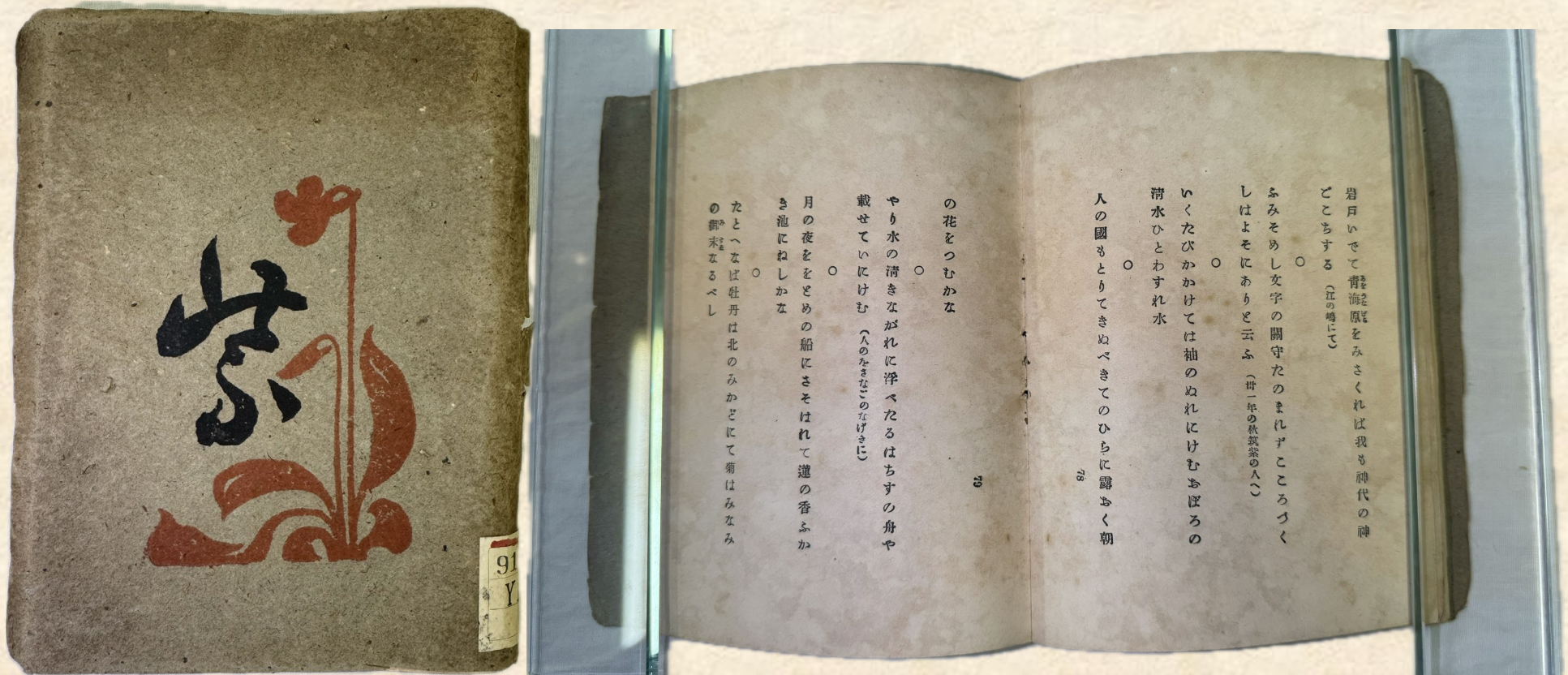


『小倉擬百人一首』（杉本図書館所蔵）



『むらさき』 與謝野鐵幹著

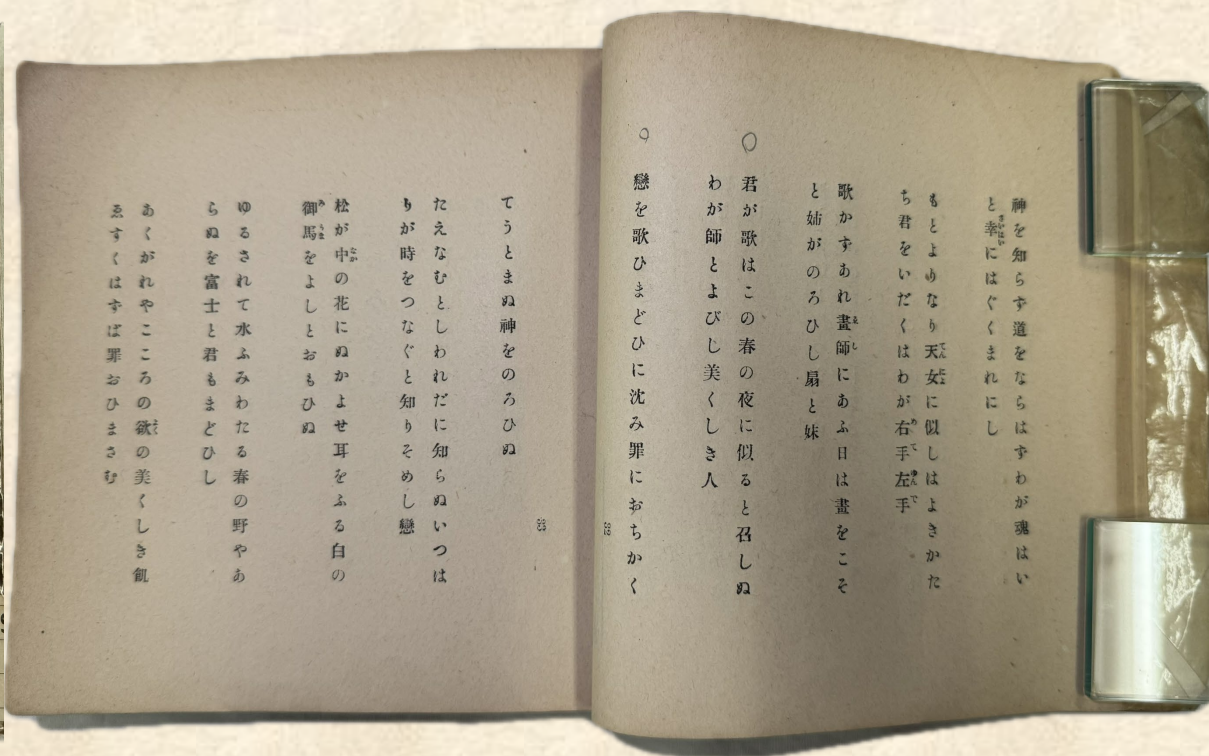
東京新詩社 明治34年(1901)



『みだれ髪』 與謝野晶子著 四版(訂正改版)
金尾文淵堂 明治37年 (1904)



『毒草』 與謝野鐵幹、與謝野晶子共著 訂正再版
本郷書院 明治37年(1904)



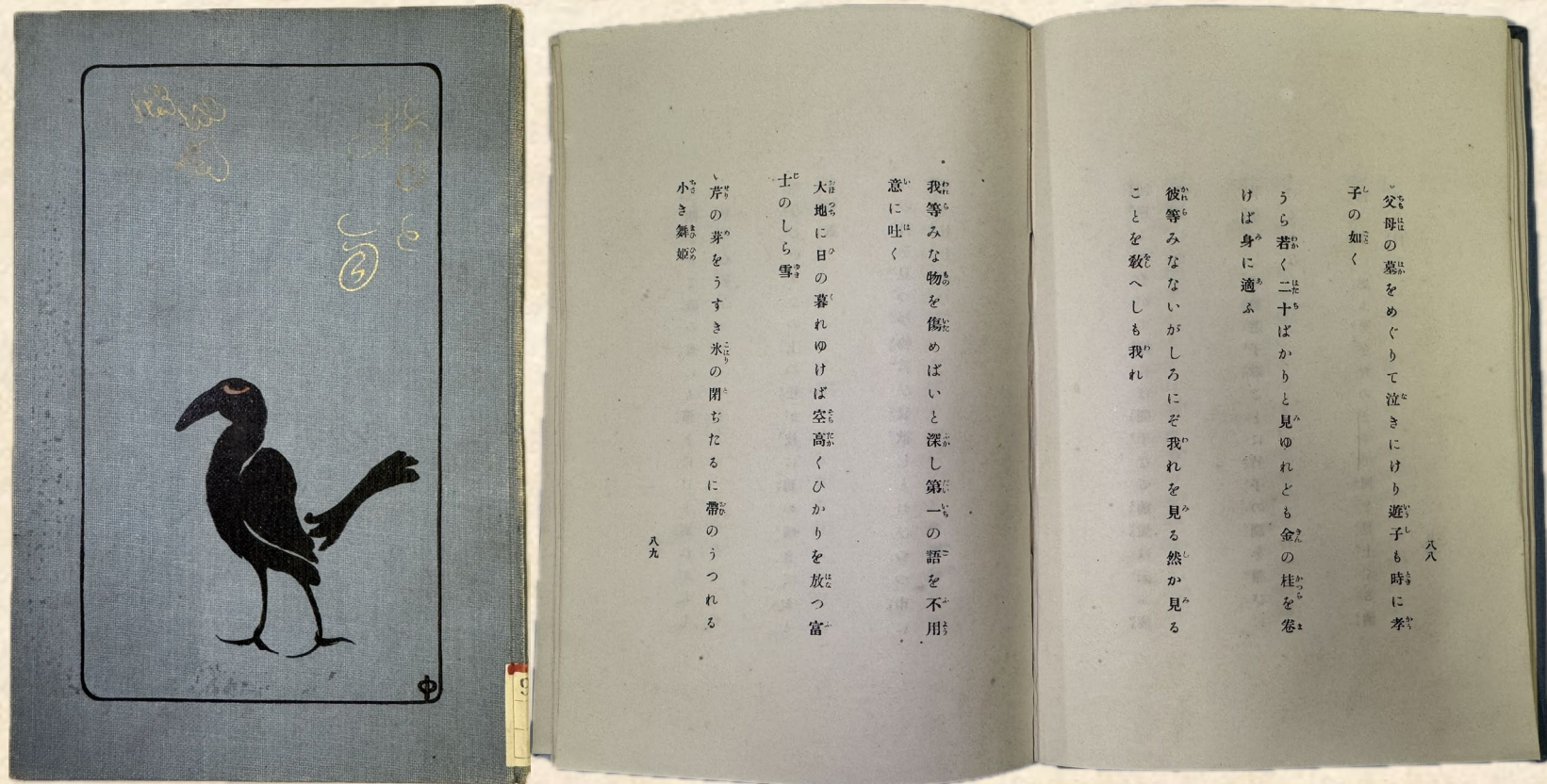
『火の鳥』 與謝野晶子著 金尾文淵堂 大正8年(1919)



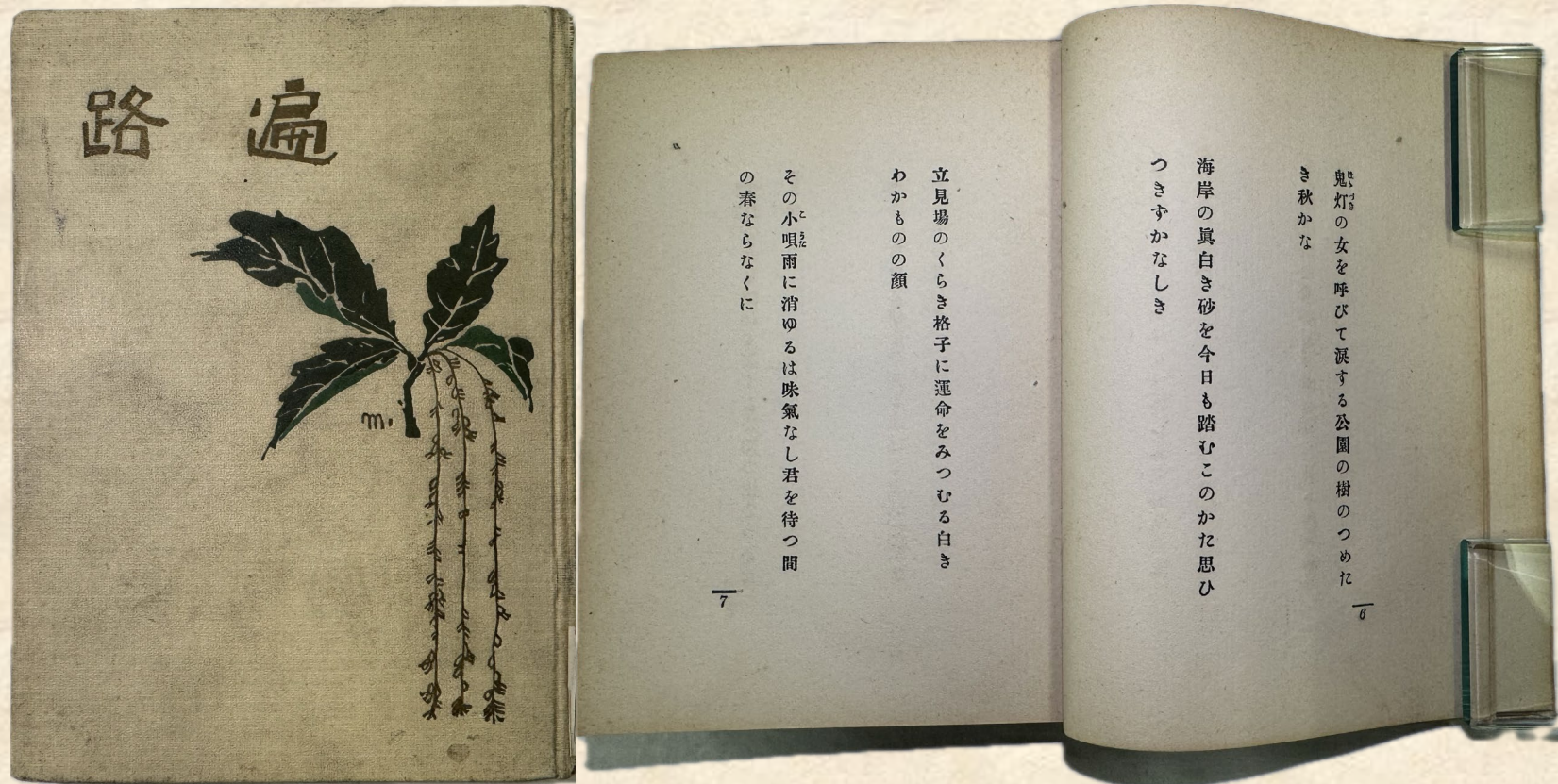
大阪公立大学中百舌鳥図書館貴重図書展示
歌書のくさぐさ—古典から近代へ

『鴉と雨』 與謝野寛著

東京新詩社 大正4年(1915)



『遍路：歌集』 石川宰三郎著
南北社 大正3年(1914)



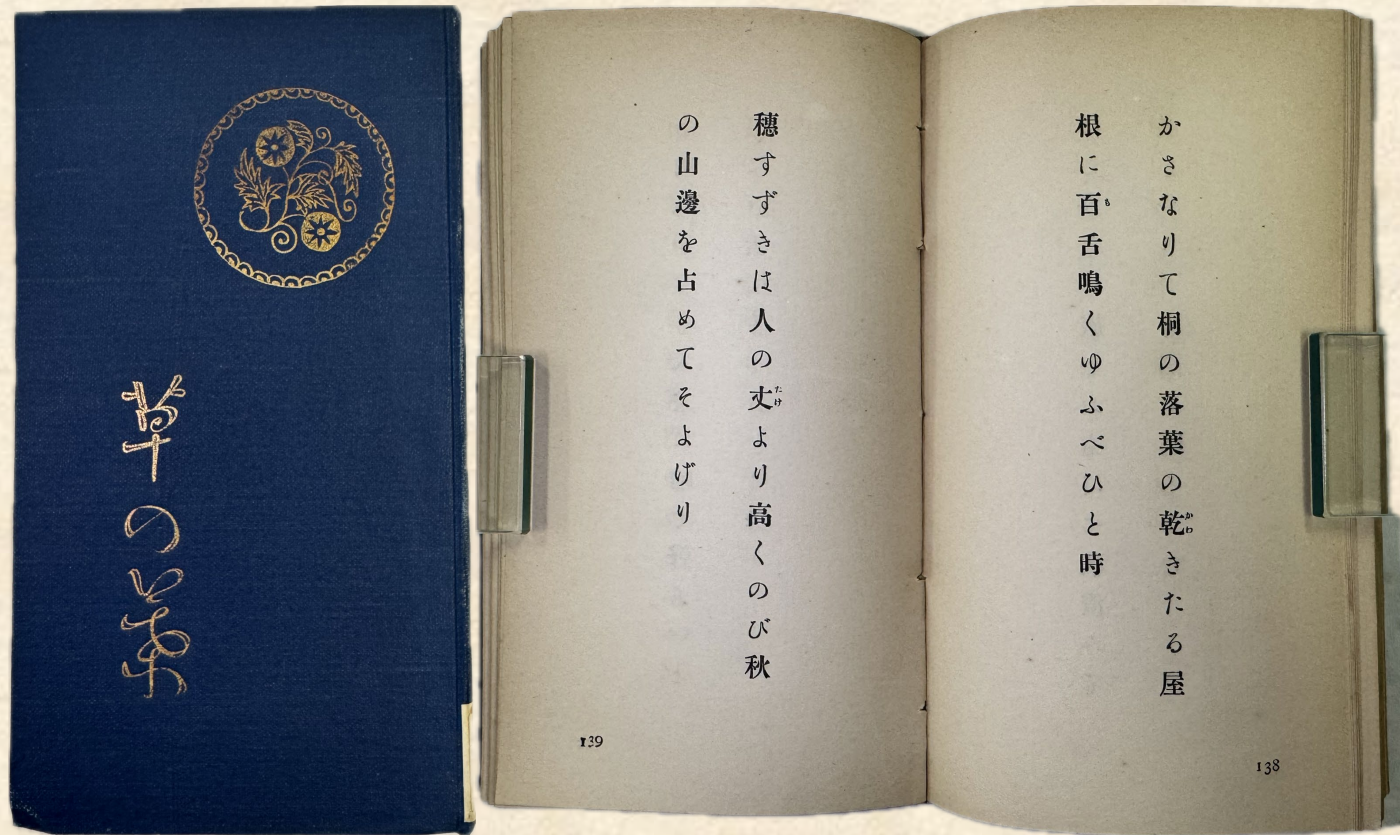
大阪公立大学中百舌鳥図書館貴重図書展示

歌書のくさぐさ—古典から近代へ

『夕ばえ』 野口精子著
警醒社書店 大正4年(1915)



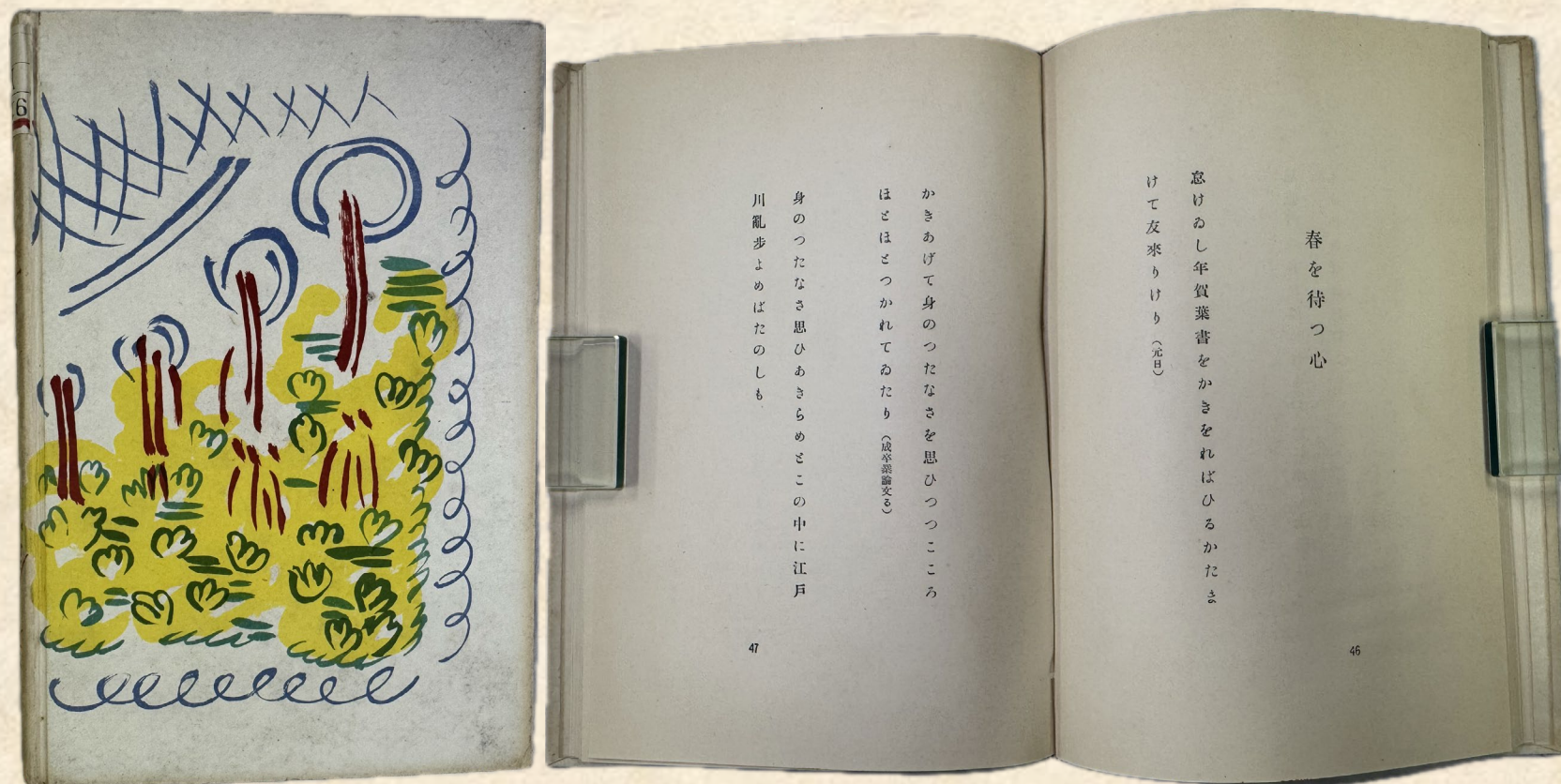
『草の葉』 渡辺湖畔著
天弦堂書房 大正6年(1917)



大阪公立大学中百舌鳥図書館貴重図書展示

歌書のくさぐさ—古典から近代へ

『春の舗道』 山崎敏夫著 再版
水甕社 昭和4年(1929)



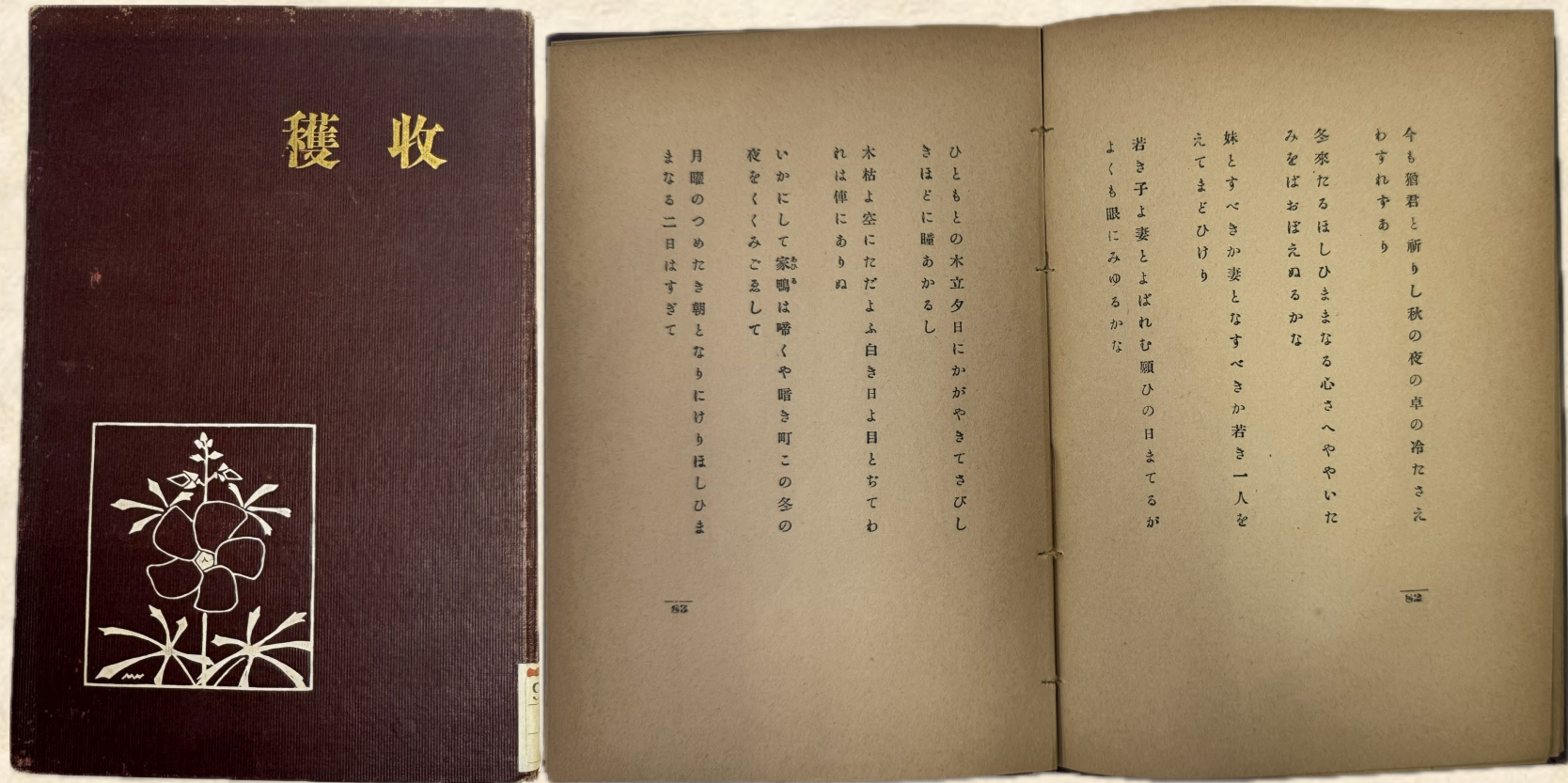
春を待つ心

忘れぬし年賀葉書をかきをればひるかたま
けて友來りけり (元日)

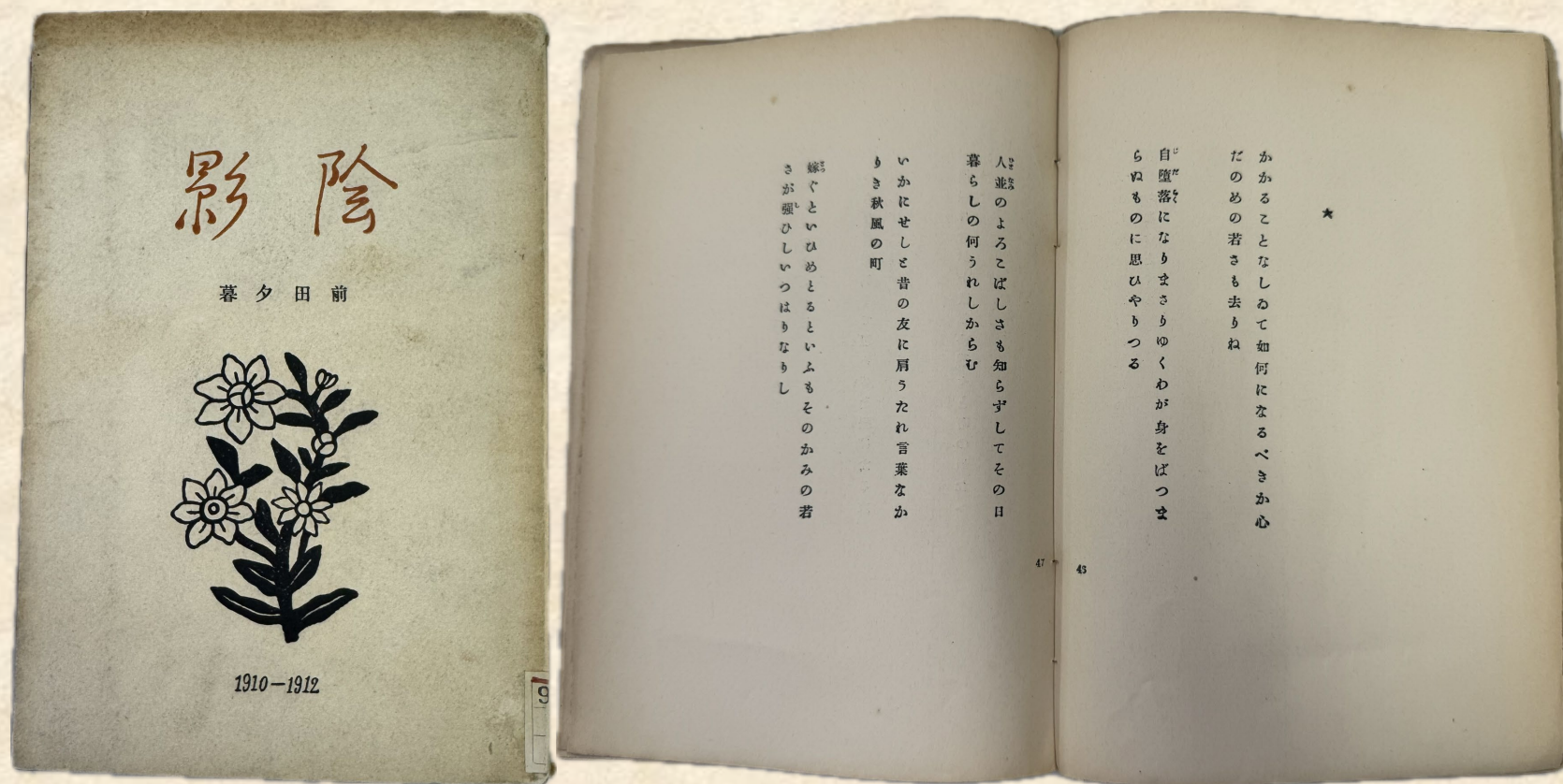
かきあげて身のつたなさを思ひつつこころ
ほどほどつかれてゐたり (成卒論文)

身のつたなさ思ひあきらめどこの中に江戸
川亂歩よめばたのしも

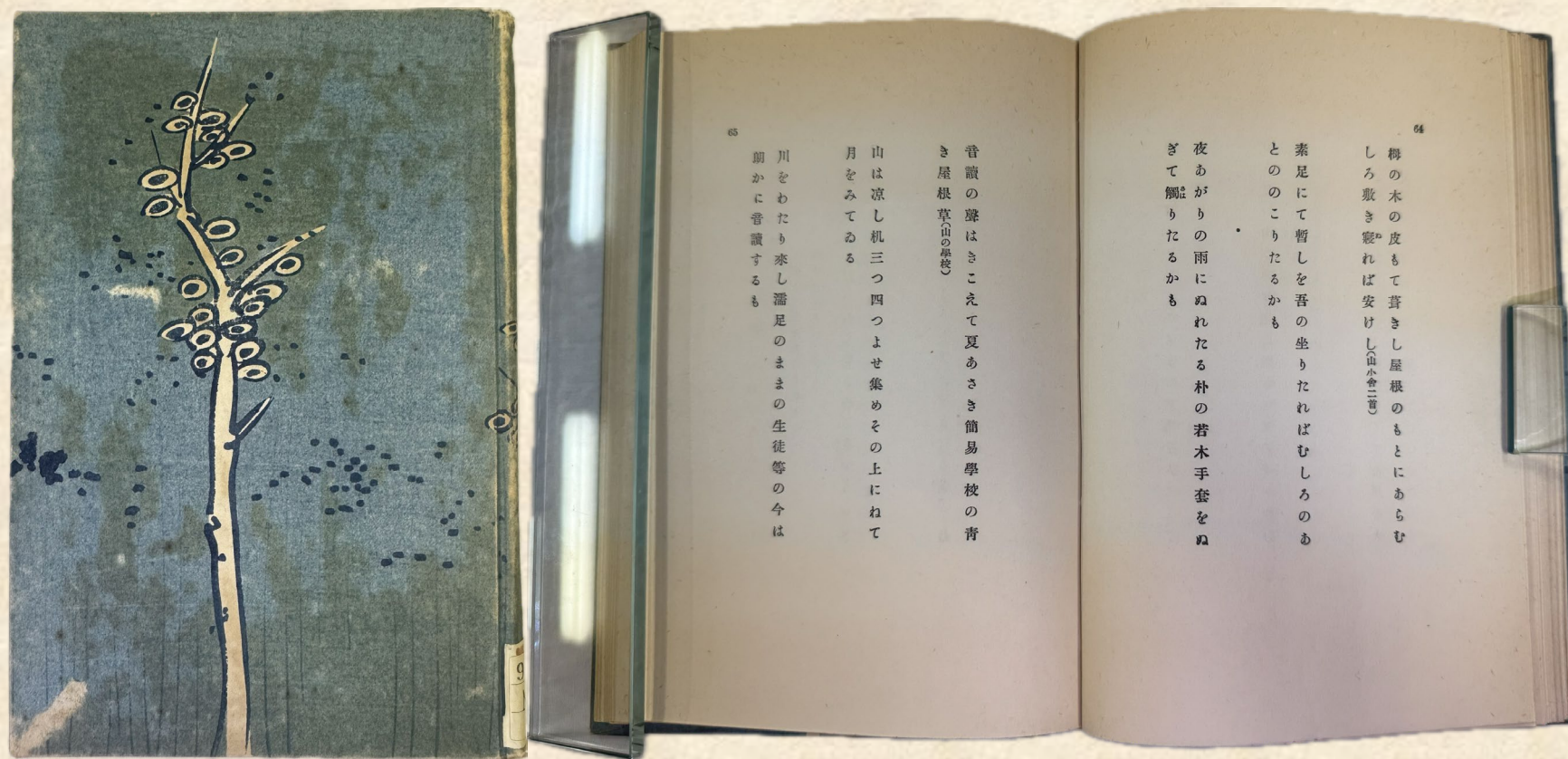
『収穫』 前田夕暮著 増補再版
東雲堂 明治43年(1910)



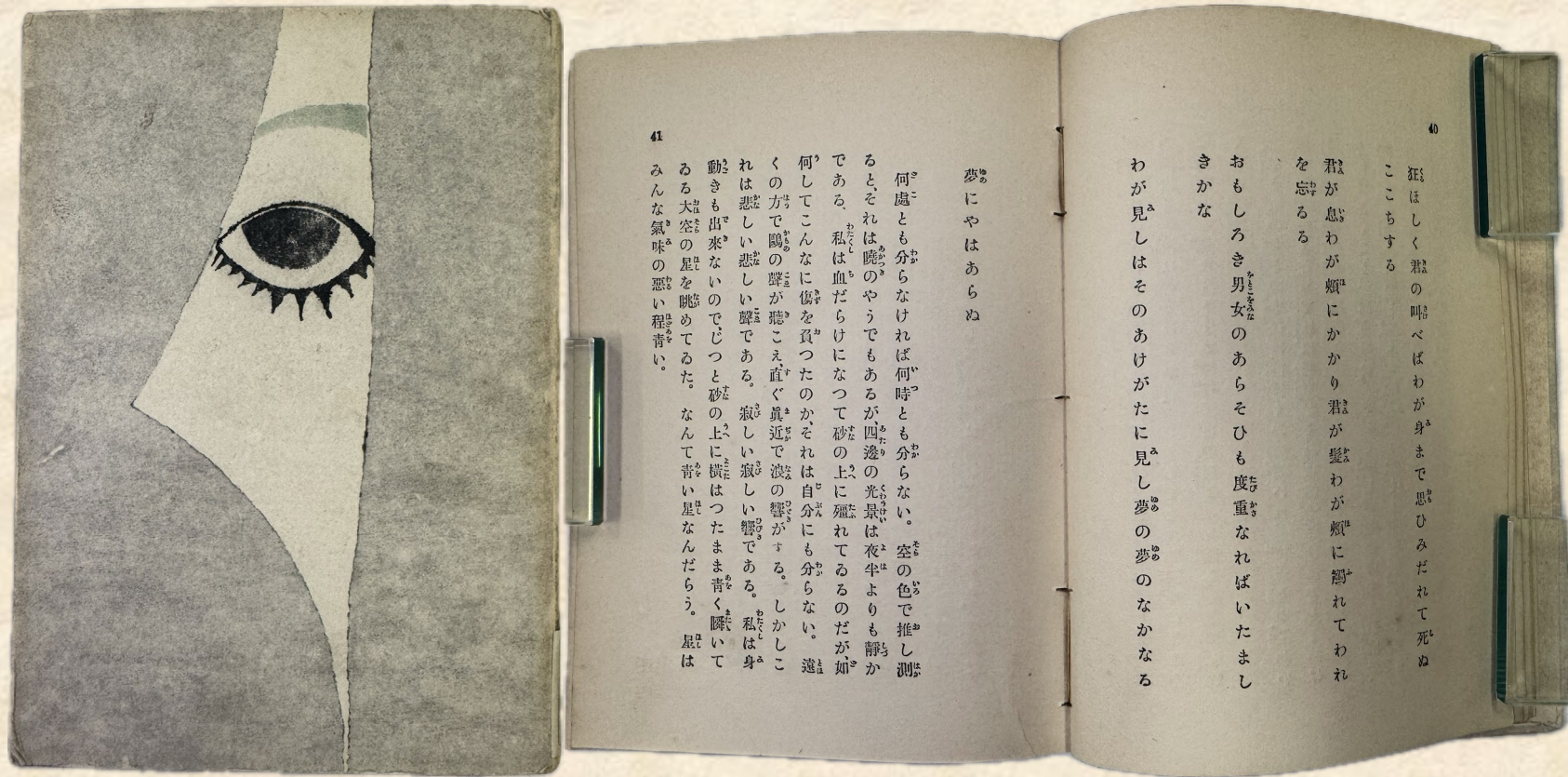
『陰影』 前田夕暮著
白日社 大正元年(1912)



『虹：歌集』 前田夕暮著
紅玉堂書店 昭和3年(1928)

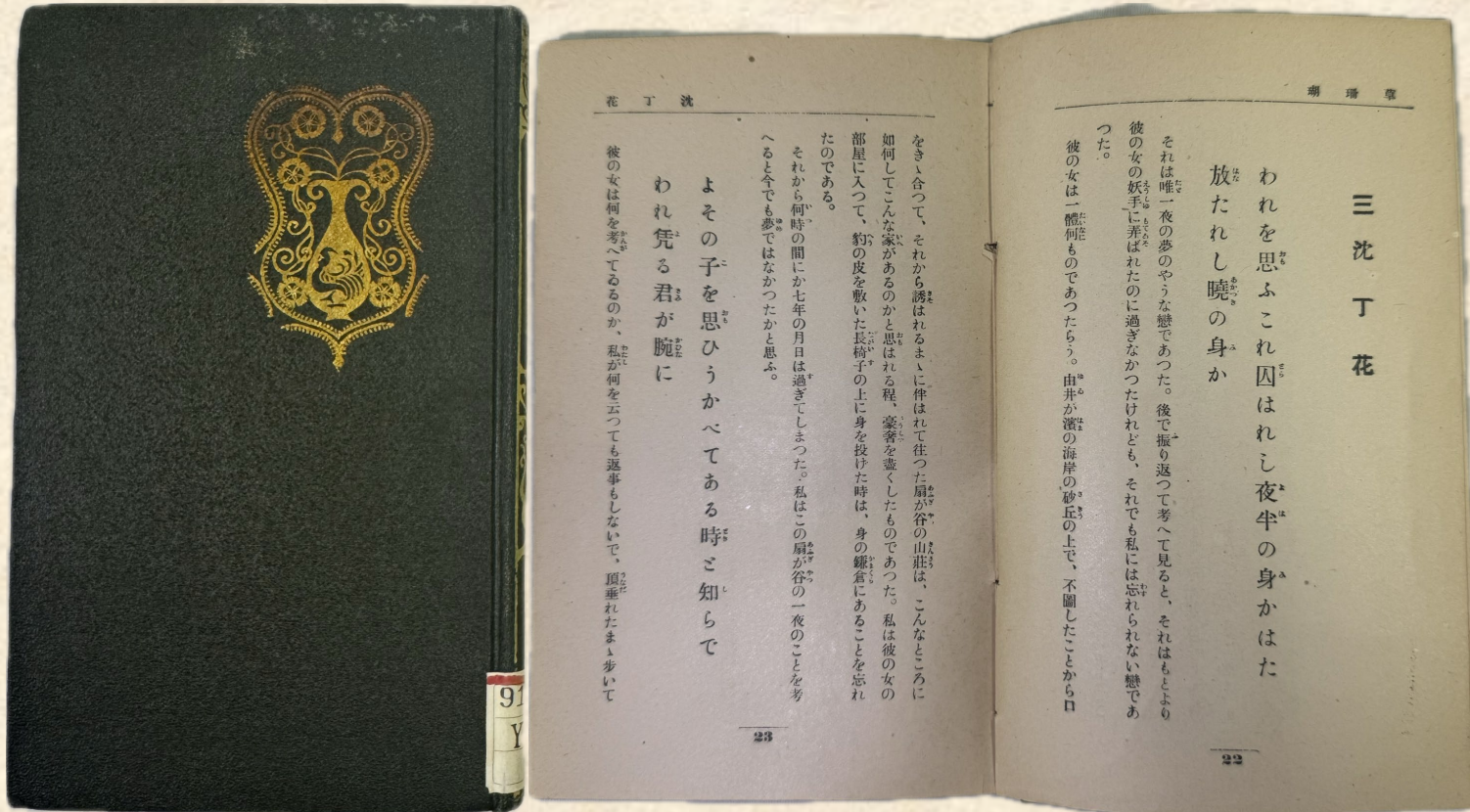


『明眸行』 吉井勇著
天弦堂書房 大正5年(1916)



『草珊瑚：自歌自釈』 吉井勇著

東雲堂書店 大正8年(1919)



『河原蓬』 吉井勇著
春陽堂 大正9年(1920)

